

第45回 岡山支部評議会 議事概要

開催日時：平成27年11月20日（金）15：30～17：15

開催場所：第一セントラルビル5階D会議室

出席評議員：浜田評議員（議長）・西尾評議員・岡山評議員・野田評議員・本後評議員・岡本評議員・北野評議員

議題（1）平成27年度岡山支部事業実施状況について

事務局から、平成27年度岡山支部事業実施状況を資料に沿って説明。

【主なご意見】

《被保険者代表》

健康保険委員の委嘱拡大については、健康保険委員と年金委員は同数ではないということか。

（事務局）

同じ事業所であっても健康保険委員と年金委員に別々の方が委嘱されている場合や、一方の委員だけ委嘱されている場合もあるため、同数ではない。これまでは社会保険委員として、健康保険と年金とで一对になっていたところだが、現在は年金委員の数が400名ほど多い状況である。

《学識経験者》

健康保険委員は効果的な役割を果たしているのか。

（事務局）

加入者・事業所と協会けんぽとのパイプ役として、健康保険事業の推進にご協力いただいている。例えば、健康保険委員が委嘱されている事業所では、加入者に直接声掛けしていただくことにより、健診受診率が高くなる傾向がある。事業推進のために重要な役割を担っていただいている。

《被保険者代表》

転勤、配置換え、死亡等変更事由に該当しても、交代時に届出が十分できていない、あるいは解嘱届だけを提出する方が多いと感じる。これでは委嘱数が減る一方ではないか。健康保険委員と年金委員との登録用紙を同時に用意するとか、どちらかに申し出をしても登録の対応ができるとかしないと、単独での対応では委嘱拡大にも限界があるのではないか。

（事務局）

健康保険委員のみの委嘱勧奨だけではなく、地区協議会や年金事務所と協力した委嘱勧奨等、勧奨方法を検討していきたい。

《学識経験者》

多受診者はどのように把握しているのか。典型的な例は。

(事務局)

レセプトの枚数で把握している。精神疾患により受診されている方が多い。事業としては、まず文書で健康状態等を照会している。照会後の経過を観ていくと、レセプトの枚数は減っており、効果は表れている。

《学識経験者》

柔道整復施術療養費について、不適切なものは指導をするということか。

(事務局)

指導や厚生局への情報提供、刑事・民事訴訟により適正化を図っている。

《学識経験者》

柔道整復施術療養費にかかる不正と疑う事例はどういったものがあるのか。

(事務局)

疑う事例として多いのは、3か月前後で別の患部に施術を受けたことにして延々と請求する部位転がし、施術日数の付け増しといった事例である。実態はないが施術を受けたことにする、架空請求の事例もある。患者側に対して文書で照会するのだが、患者側への更なる制度周知・啓発が必要であると感じているところである。

《学識経験者》

地域医療構想の策定に当たって検討会に参加しているとのことだが、保険者としてどのような意見を提出するのか。

(事務局)

保険者としての意見を求められる機会があるので、地域の医療費の動向等を踏まえた意見提出をしたいと考えており、意見提出に向け、他保険者とも情報共有等連携を深めているところである。

■議題（1）について、平成27年度岡山支部事業実施状況について、全会一致で確認された。

議題（2）岡山支部事業の課題と今後の方向性について

事務局から、岡山支部事業の課題と今後の方向性を資料に沿って説明。

【主なご意見】

《学識経験者》

かかりつけ医の普及啓発とあるが、かかりつけ医を持っていない人が多いという認識か。

(事務局)

地域に根ざした医療提供体制を維持していくためには、かかりつけ医の更なる普及が必

要と考える。医師会等と連携して、共同でポスター等の啓発資材を作成するなど、広く加入者に発信していきたいと考えている。

《学識経験者》

岡山支部としては、どこに事業の課題があると認識しているのか。

(事務局)

定型的な事業にとらわれて、一歩踏み込んだ事業が実行できていなかったと認識している。現在は、ジェネリック医薬品軽減額通知に係るアンケートを実施したように、加入者の意見を収集し事業計画に反映させ、新規の事業を実行していこうとしている。

《被保険者代表》

社会保険委員が主催のウォーキング大会では、認知度も低く、参加者が社会保険委員に限られるなど、一般の加入者が参加しない。単独でイベントを実施することに限界を感じる。

(事務局)

岡山県知事や岡山市長も健康寿命の延伸に熱心である。単独でイベントを実施するのではなくて、連携した関係機関、自治体と協力して事業を行っていききたいと考えている。

■議題（２）について、平成 28 年度事業と予算のうち、特別計上に関する広報や保健事業については、全会一致で承認された。